

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな		あおき かずと	
氏名		青木 和人	
所属・役職		福井県立大学 地域経済研究所 教授 オープンデータ実践会 代表 Code for 山城 代表	
活動拠点		北陸	
略歴		京都府宇治市役所 勤務 立命館大学歴史都市防災研究所 客員研究員 宇治市教育委員会 西宇治図書館 館長 立命館大学大学院 公務研究科 非常勤講師 あおき地理情報システム研究所 代表 オープンデータ実践会 代表 Code for 山城 代表 京都府立大学公共政策学部 非常勤講師 鈴鹿大学短期大学部生活コミュニケーション学科こども学専攻 准教授	
地域情報化の 専門分野・技術		DX, GIS, オープンデータ、ウィキペディアタウン、デジタルアーカイブ、EBPM	
専門分野		オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI 活用 生成AI活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用）自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 防災 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 働き方 子育て 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 個人情報保護 スマートシティ ICT 活用広報 プロジェクトマネジメント支援 その他	
自治体向けメッセージ		DX で仕事は楽に！地域は元気に！をお手伝いします。	
関連サイト		https://researchmap.jp/KazutoAOKI	
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	国土交通省 国土政策局：「防災業務におけるGIS高度活用人材育成プログラム」教材作成、講師、委員。 平成24年度 国土交通省 国土政策局：「福祉業務におけるGIS高度活用人材育成プログラム」教材作成、講師、委員。	

これまで に 関 与 し た 地 域 情 報 化 に 関 する プ ロ ジ ェ ク ト	地理情報システム学会 東北地方太平洋沖地震緊急地図作成チーム (EMT = Emergency Mapping Team) 活動. 2011 年 9 月まで Facebook 自治体 GIS 活用推進グループ (行政での GIS 利用に関する意見交流の場) 管理者. 現在に至る 内閣府認証 NPO 法人 GIS 総合研究所 自治行政情報懇話会 運営委員. 2014 年 3 月まで F0SS4G (Free Open Source Software for Geospatial) ドキュメント日本語翻訳プロジェクト活動 チームリーダー. 現在に至る Osgeo (The Open Source Geospatial Foundation) 財団 日本支部 運営委員. (F0SS4G Kansai 運営活動、QGIS3.0 Hackfest Kansai 運営活動) 現在に至る 自治体オープンデータ推進協議会 (関西会議) 事務局 (第 1~8 回自治体オープンデータ推進協議会 (関西会議) 主催) 現在に至る オープンデータ京都実践会 (市民参加型オープンデータ事業 ウィキペディアタウン & OpenStreetMap 主催) 2020 年 3 月まで Code for 山城 (平成 26~令和 4 年度京都府地域力再生事業交付金事業 ウィキペディアタウン 主催) 現在に至る 京都大学防災研究所 社会防災研究部門: 平成 28 年度 地先の安全度マップ更新のための堤内地水路データ・非構造格子属性 (標高、空隙率、透過率、粗度係数) データ作成・評価業務受託 2018 年 3 月まで 京都大学防災研究所 社会防災研究部門: 平成 29 年度 地先の安全度マップ更新のための堤内地水路データ・非構造格子属性 (標高、空隙率、透過率、粗度係数) データ作成・評価業務受託 2019 年 3 月まで 京都大学防災研究所 社会防災研究部門: 平成 31 年度 地先の安全度マップ更新のための排水区データ・構造格子属性 (標高、空隙率、透過率、粗度係数) データ作成・評価業務受託 2020 年 3 月まで”
--	--